

令和2年度大学院地球社会統合科学府

修士課程（夏季）入学試験

入学試験問題

言語コミュニケーション・言語教育

注意事項

1. 問題は「はじめ」の合図があるまで開けないこと。
2. 試験開始後、全ての解答用紙に受験番号等を明記すること。
3. 解答用紙は、必ず全部提出すること。
4. 問題冊子は持ち帰ってよい。
5. 指定の解答用紙を用いること。

【共通問題】

問1. 次の1～18から6つ選び、選んだ語句の番号を解答用紙に書いた上で、それぞれ具体例を挙げて説明しなさい。(20点×6=120点)

- 1 文化相対主義 (cultural relativism)
- 2 エスノグラフィ (ethnography)
- 3 コミュニケーション能力 (communicative competence)
- 4 二重母音 (diphthong)
- 5 音位転換規則 (metathesis)
- 6 弁別的素性 (distinctive feature)
- 7 図と地 (figure and ground)
- 8 音象徴 (sound-symbolism)
- 9 中間構文 (middle construction)
- 10 超分節音素 (suprasegmentals)
- 11 失語症 (aphasia)
- 12 相補分布 (complementary distribution)
- 13 取り出し指導と入り込み指導
- 14 サービス・ラーニング (Service Learning)
- 15 JF スタンドワード
- 16 個体内コミュニケーション (Intrapersonal Communication)
- 17 スピーチライター (Speechwriter)
- 18 対人攻撃の虚偽 (Fallacy of *Ad Hominum*)

【選択問題】

問2 次の ~ から 2 つ選び、それぞれについて解答しなさい。選んだ問題の番号を解答用紙に書きなさい。(40 点×2 = 80 点)

以下の(1)から(4)の問いに答えなさい。(40 点)

- (1) IPA (国際音声字母) の diacritics を 5 つ挙げ、各々について簡単に説明しなさい。(2 点×5 = 10 点)
- (2) 現代朝鮮語では、/ne/が「デ」のように聞こえることがあります。なぜこのようなことが起こり得るのか、音声学的な視座から考えて、その原理を説明しなさい。(10 点)
- (3) 現代日本語の学校文法における動詞の活用表の問題点について、論じなさい。(10 点)
- (4) ~ の括弧内に最も適切なことばを入れなさい。~ は人名、~ は学派の名前が入ります。人名は姓名両方を書くこと。(2 点×5 = 10 点)

言語学は、18 世紀後半、ヨーロッパにおいて、比較言語学という形で黎明を迎える。() がサンスクリットとヨーロッパ古典語との類似性を看破し、それがその後の印欧語比較言語学の^{ほうが}萌芽となる。19 世紀に入り、() () () によって本格的な歴史言語学的研究が開始され、1870 年代には、ドイツのライプツィヒ大学を中心とする、() が一世を風靡する。

以下の(1)(2)の問いに答えなさい。(40 点)

- (1)
 - (a) 「大きい」と「小さい」、「生」と「死」、「売る」と「買う」は antonym と呼ばれる。antonym の日本語訳を示した上で、antonym とは何かを簡潔に説明しなさい。(4 点)
 - (b) 「大きい」と「小さい」、「生」と「死」、「売る」と「買う」は antonym ではあるが、それぞれ異なる特徴を持っている。各ペアの antonym としての特徴を述べなさい。(4 点×3=12 点)

(2)

- (a) 日本語の「 - テイル」の主たる用法を具体例と共に示し、それに対する英語の形式を挙げながら、日本語の「 - テイル」の機能的特徴について述べなさい。(12 点)
- (b) 日本語の「語彙アスペクト」について述べなさい。(12 点)

構文文法（構文理論）に関する以下の(1) (2)の問いに答えなさい。(40 点)

- (1) 構文文法(construction grammar)とはどのような考え方が、具体例を挙げて説明しなさい。(20 点)
- (2) 次の3つの用例を構文文法の観点から分析して説明しなさい。(20 点)
- (a) The man threw the ball into the box.
- (b) The audience laughed the actor off the stage.
- (c) Mary chopped carrots into the bowl.

以下の(1)(2)の問いに答えなさい。(40 点)

- (1) 社会方言とは何か、具体例を挙げて説明しなさい。(20 点)
- (2) マッチトガイズ・テクニクとは何か、具体例を挙げて説明しなさい。(20 点)

地域日本語教育では、大学や日本語学校のように学習者の学習活動の到達度を測る指標が明確に定められておらず、成績評価などもなされていない場合が多い。このような場合、学習者のモチベーションを向上させ、学習活動を促進させるためには、学習者へのどのような支援が必要となってくるか。学習活動の到達度を測る指標や学習活動のテーマ、それを用いた具体的な学習支援方法を示しながら説明しなさい。(40 点)

言語支配とはどのような言語的現象か、それはどのようにして起こるのか、例をあげながら説明しなさい。(40 点)

母語（特に音声言語）の習得はその言語を使用する機会が十分にあればほぼ例外なく成功します。それに対して、第二言語学習者の成功には大きなばらつきがあります。このことについて以下の問いに答えなさい。

- (1) 第二言語学習が成功するかどうかの個人差の要因にはどのようなものがありますか。なるべく多く挙げなさい。(10点)

- (2) (1)で挙げた要因のうち三つを選び、それぞれについて具体的にどのように第二言語学習の個人差に影響を与えるのか述べなさい。(30点)

マルチメディアを利用した外国語学習の効果について具体例をあげてあなたの意見を述べなさい。(40点)

原子力発電の安全性に関する論争において用いられる証拠資料の出典について、次のような人物の著作から引用する際に、その証拠能力や信頼性について考察を加えなさい。専門性や偏見を単純に捉えるのではなく、情報の内容や著作の発表の場などを含め考察を加えること。(10点×4=40点)

- (1) 映画監督（原子力発電についてのドキュメンタリー映画を撮影した監督）
- (2) 原発技師（電力会社の原子力発電関係の設計技師）
- (3) 大学教授（大学の原子力工学科で原子炉の安全性について研究している教授）
- (4) ブロッガー（原子力発電所の安全性について賛否両論を紹介するブログを匿名で運営している人物）